



2023年8月29日
八重瀬町
沖縄電力株式会社
沖縄新エネ開発株式会社

八重瀬町庁舎における かりーるーふ（太陽光第三者所有モデル）の運用開始について

この度、八重瀬町（町長：新垣 安弘）において、沖縄電力グループの沖縄新エネ開発株式会社（代表取締役社長：嘉味田朝紀 以下「沖縄新エネ開発」）が手掛ける「かりーるーふ※（太陽光第三者所有モデル）」の運用を開始しました。

八重瀬町は、「第3次八重瀬町地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策として、公用車に電気自動車の導入、公共施設の照明のLED化などCO2削減と意識の啓発に向けた取り組みを実施し、豊かな自然環境の保全に努めております。

今回、沖縄新エネ開発が八重瀬町の初期費用負担ゼロで同庁舎に太陽光発電設備（55kW）を設置することで、同庁舎で使用する年間使用電力量の約30%が太陽光発電により供給されることになり、年間約72t（杉の木約8,200本分）のCO2削減に貢献します。

さらに、台風等の災害による停電時は、太陽光発電設備から蓄電池（13.5kWh）に充電された電力を通信機器の利用や充電に活用することで、避難町民の安心・安全の確保及び庁舎のBCP（事業継続計画）機能の強化を図ります。

これは、沖縄電力が掲げるコーポレートスローガン「地域とともに、地域のために」に資する取り組み、および沖縄電力グループが目指す「2050年CO2排出ネットゼロ」実現に向けた方向性の一つである「再エネ主力化」を一層推進する取り組みにも繋がります。

3者は、本サービスの導入を通して、今後も沖縄県の持続可能な社会づくりに向けた取り組みを推進してまいります。

※ 「かりーるーふ」は、太陽光発電設備と蓄電池を初期投資ゼロで設置し、発電した電気をお客さまに販売するサービス。ご検討から導入、メンテ、撤去まで沖縄新エネ開発がワンストップで対応。



以上